

野田 九条通信

2011年7月

67号

「野田・九条の会」事務局

TEL 7122-0502

野田九条の会ホームページ

<http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/>



福島の前発事故から3ヶ月の6月11日、「脱原発100万人アクション」が各地で行われました。東京では、港区芝公園から東電前を通り銀座のコースに6000人、渋谷では1500人、新宿では若い人達を中心に7000人、夜はアルタ

前集会に2万人と、近年にない大ぜいの人々の意思表示がありました。そのほか地元福島や、近くでは越谷などでも原発ノーの市民の全国的な動きがありました。テレビなどのマスコミの報道は小さかったのはなぜでしょうか。

6・11脱原発100万人アクション

原発停止・廃炉の声高く

アピール、催しがあり、80%以上の人々が原発はやめるべきとの意思表示

がありました。菅首相の退陣劇の裏にも新エネルギー政策への転換発言などがあるとの報道もあり、民意をしっかりと発信していく必要をますます感じます。

『黒い雨』は今村昌平監督、主演は先に亡くなった田中好子さんです。改めて原発、放射能の危うさを観てみましょう。入場は全部無料です。

この開催経費は参加団体、個人の賛同金、カンパで成り立っています。

8月20・21日

平和のつどい5周年 記念集会にご協力を

今年の平和のための戦争展は5周年を記念し、

員会に参加し、積極的に活動を担っています。

文化会館で8月20日(土)

コントの「松元ヒロ」

21日(日)に行われます。

さんのライブ、映画は三

野田・九条の会も実行委

本、中でも原発を扱った

500円です。その他メッセージを添える関綾子さん、絵手紙の先生の色紙もあります。詳しくは平和のつどいのチラシで。

今月の活動

九条の会 定例会・学習会

7月9日(土) 中央公民館講座室

学習会「放射性物質の基礎知識」

2時～3時半 講師：関一さん

定例会 3時半～4時半

チラシ配布

7月9日(土) 5時～ 愛宕駅

放射能汚染から子どもたちを守る会 学習会

7月14日(木) 10時～12時

けやきのホール4階集会室(1)

「放射能や放射線って何だろう？

体内にとりこむとどうなるの？」

講師 左巻健男さん

申し込み 090-7808-9705 (渋井)

うたごえ喫茶(平和のつどい主催)

7月10日(日) 10時～11時半

野田商工会館2階

翌12日には松戸駅デッキで東日本大震災被災者支援活動に、千原西ネットによる原発に関する学習会、のしい投票などの

恐ろしい原発は廃止して

九条の眼

自然エネルギーに替えよう

始まりは アメリカの売り込みで

3・11の福島第一原発事故による放射能汚染の広がりと、収束の見通しのなさ、いまだに続いている。

世界の中でただ一国、原子爆弾による被爆を受けた日本が、今度は自らの国の政治によって放射能被曝を受けることになった。何故原子力発電にしなければならなかったのだろうか。提案は、ロシアに対抗しようとしたアメリカ原子力委員会だった。売り込みを受け、政府は1955年米国と原子力研究協定を結んだ。実際に原子炉建造を始めたのは、東海村が最初で、1967年には福島第一原発も着手した。

最初から多くの科学者たちは原発を批判し反対していた。地元の住民と一緒に、危険な原発の差し止め訴訟が、現在までに幾つも起こされた。しかし、「もんじゅ」の場合も、「伊方」(四国)「志賀2号炉」(北陸)「柏崎刈羽」(東電)の場合も、地裁では勝訴しながら最高裁へ持っていかれると、安全性は備わっていると、すべて逆転敗訴に終わった。

東京電力は「安全神話」にあぐらをかき、政府、官僚(経済産業省)、財界(関連企業)と組み「原発ムラ」といわれたが、それに司法(最高裁)が加わり、ムラよりは「王国」といった方がよい、強い独占的勢力を持つに至った。

安全神話崩れ 放射能広がる

しかし、原発は安全ではなかった。震度6の地震でもろくも多くの破損が出た。1号機から4号機まで水素爆発が次々と起こり、放射能が飛び散った。その範囲は、はじめ20^{km}から30^{km}と言われて住民は避難させられたが、実際はそれをはるかに超えており、児童・生徒は校庭で運動できなくなり、幼い子供は公園で遊べず、農家は作物が作れず、作った物は廃棄し、酪農家は牛や豚を見捨てなければならなかった。絶望のため農家と酪農で一人ずつ自殺者が出た。神奈川県や静岡県まで汚染され、お茶の出荷ができなくなった。

更にひどいのは海の汚染で、原子炉の方には水を入れなければ燃料棒が高熱になって爆発が起きるので、どんどん入れるが、压力容器も格納容器も損傷だらけだから、策に注ぐ水そのままに漏れにもれ、高濃度汚染水は行き場がないから、海に流す。「漏れていた」というのは、流していたということだ。

新聞に、東電の発表として、2号機から(だけで)520トンの水が流出し、それにストロンチウム90が約72兆8000億ベクレル含まれていたなどと、気が遠くなるような数値が出ていたりする。ストロンチウム90は、生物が摂取すると、骨や歯に蓄積して永く放射線を出すそうだ。けなげに立ち上がって、カキ・ホタテの養殖や、破損の船を修理して出漁した漁師のこと、魚介のことが心配でならない。

原子力は恐ろしいものだ。たとえ事故がなくても、使用済みになった核燃料は捨て場さえない。いつまでも放射能を出し続けるからだ。六ヶ所村の廃棄物処理場も満杯になった。このような人間が制御できない科学物質を商業的に大量に利用すべきではない。それは人間の思い上がりというもの。

原発を廃止して、太陽光、風力、小型水力などの自然エネルギーに替えていかなければならない。

世界でも日本でも 脱原発の動き強まる

「フクシマ」は世界中で有名になった。反対運動が起き、ドイツとスイスでは脱原発を決め、イタリアでは国民投票で94%が原発反対票を入れた。日本も反対運動は起こっているがまだ少ない。一番多くあるべきなのに。体制順応型のマスメディアも反対運動やその意見など、ほとんど載せない。

けれど脱原発への道は、人々が意思を強く持ち、声を挙げ、行動を広げていくことによって進んでいくにちがいない。
(森本 房子)

下の写真は6月11日「脱原発100万人アクション」として、各地で一斉に行なった集会とデモ行進

